

英国日本人会ナルク部主催「英国でのケアホーム費用とそのファイナンシャルプランニングについて」のセミナーのまとめ

2021年6月30日（水曜日）午後2時より、先のセミナーが St James Place Wealth Management のアソシエイト・パートナーの新井康人様をスピーカーとしてお迎えして、60名の方々に参加いただき、オンラインで行われました。

そこで、下記にそのまとめを記載します。

まず、簡単に後期のファイナンシャルプランニングとしては、下記を考える必要があるとし、同日は長期ケアに関して説明をいただきました。

- 相続税
- 遺書及び Lasting Power of Attorney (LPA)
- 収入
- 長期のケア（必要となった場合）

統計的に現在の英国においては、平均的寿命は現在 65 歳の男性は 85 歳、女性は 87 歳となっていて、85 歳以上の人口が増加しているとのこと。しかし、その寿命は生活環境等で 25 年ほど異なってもいる。

57,000 人の人々が自己負担で毎年ケアホームに入所。そして、自己負担でケアホームに入っている人々が毎年支払っている費用は 109 億ポンド。

健康に暮らしている期間を意味する健康寿命は、英国においては実際寿命よりも 3 年から 5 年短い。

同日の長期ケアの説明としてお話いただいた項目は下記の通り。

1. ケアの種類
 2. ケアの費用
 3. 国から受けられる給付金
 4. ケア費用支払いの方法
 5. ケアを受ける可能性に基づいた長期的なファイナンシャルプランニング
-
1. ケアの種類
 - 自宅で家族やボランティアや専門家によるケア
 - Residential Care（看護ケア以外のパーソナルケアを提供）
 - Nursing Care（Residential Care のケアに加え医療的看護ケアも提供）
 2. ケアの費用（2018 年/2019 年のデータ）

- イングランドで Residential Care は週 645 ポンドに対し、Nursing Care は 896 ポンド。
- そのうちロンドンでは、公営と私設の年間平均費用は Residential Care で 38,688 ポンド、Nursing Care で 46,904 ポンド。
- 10 年間で 50% 値上がり、つまりは年率換算で 4.1% ほど。インフレ率が 2% ~ 2.5% である中で、値上がり率はかなり高い。

3. 国から受けられる給付金

- **Attendance Allowance**
資力検査無く、課税対象外。65 歳以上で精神的も含む病的疾患で 6 か月以上のケアが必要。受給額は Lower Rate と Higher Rate があり、一日に朝昼のケアが必要な場合 (Higher Rate) は週 89.60 ポンド、朝か昼に一度ケアが必要な場合 (Lower Rate) は週 60 ポンド。インフレ上昇率に沿って調整される。
- **Personal Independence Payment**
対象が 16 歳から 65 歳までの方である以外は、ほぼ先の Attendance Allowance と変わらない。受給額は Living Component は先と変わらず Standard Rate (先の Lower Rate) と Enhanced Rate (先の Higher Rate)。それに加え Mobility component がある。Lower rate が 23.70 ポンド、Enhance rate が 62.55 ポンド。
- **Carers Allowance**
ケアをしている人への給付金。16 歳以上で、最低週 35 時間ケアをしている人。イングランドに少なくとも過去 3 年間に 2 年間居住。週 21 時間以上のフルタイムで教育を受けている人を除く。税引き後、仕事中のケア費用を差し引き、年金の半分を除いて、週 128 ポンド以上の収入がある場合も受給不可。週 67.60 ポンド (課税対象)
- **Registered Nursing Care Contribution**
資力検査なく、課税対象外。Residential Care に滞在していながらも、NHS の看護師が定期的に看護する場合なども対象。支払いは NHS Clinical Commission Group (CCG) より行われ、イングランドにおいては 2021 年 4 月段階で週 187.60 ポンド。

4. ケア費用の支払い方法

- 加齢によるケアについて
地方自治体の管轄で資力検査 (Means Tested) がある。

- 医療行為が含まれるケアについて
NHS の管轄で原則無料。
- **Continuing health care** について
当初ケアが必要となった理由が病気や怪我であった場合は、NHS の管轄であり無料。この受給資格は NHS が判定。

ケア費用の支払いに関する判断方法について

- 地方自治体がニーズに応じてケア費用を算出し、個人名義収入や資本と共同名義のものは 50% の資本を確認する資力検査を行い、誰が支払うべきかを判断。
- **Personal Expenses Allowance**
収入の中から、イングランドにおいては週に 24.90 ポンドは経費として認められ対象外。
- **Capital Assessment**
イングランドにおいて、23,250 ポンド以上の資産がある人は、ケア費用は全額負担。
- **Capital** に含まれないもの
 - 自宅が Trust に含まれている部分や、投資型生命保険。
 - 次の場合は自宅であっても含まれない。①配偶者やパートナーが居住している。②60 歳以上の親戚が居住。③障害を持つ親戚が居住。④18 歳以下の子供が居住。⑤ケアホームへ移って最初の 12 週間。
- 下記の場合は資本に含まれない贈与と認められない。
 - 贈与が 6 か月以内の場合。6 か月以上でも **Capital Assessment** を逃れる目的とみなされた場合。

5. ケアを受ける可能性に基づいた長期的なファイナンシャルプランニング

- **The Deferred Payment Agreement**
自己負担のケア費用を地方自治体と交渉して建て替えをしてもらう。そして、亡くなった際に自宅を売却して支払う。
 - 利点 賃貸に出すこともできる。価格上昇時に利益が出る可能性。
 - 欠点 地方自治体が了承するとは限らない。支払う金利も付く。
- 不動産を賃貸に出す
 - 利点 不動産収入を得る。資産の有効活用。
 - 欠点 不動産管理の手間。必ずしも安定的に賃貸できない可能性。
- **Equity release**

ケアを自宅で受けたい場合、自宅を担保に銀行からケア費用を借りる。Life time Mortgage（60歳以上であれば利用可能）等。

- 利点 不動産価値が上昇した際に利益が出る。
- 欠点 所有者がケアが必要な場合は通常利用できない。金利の支払い等。
- 資産を現金化
 - 利点 リスクは低い。
 - 欠点 利息が付かない。
- 現金としておくのではなく投資し、それを必要に応じて利用
 - 利点 資産の有効活用。
 - 欠点 安定したリターンを受けられる確証はない。
- Care Fee Annuities
ケア費用を捻出するために、一括で支払い、毎月の収入を得る。
 - 利点 ケア費用総計の上限を設定できる。それにより他の資産を守れる。課税対象外。
 - 欠点 支払ったものの短期間で亡くなった際のリスク。（このリスクもカバーするものもある。）

先のファイナンシャルプランニングはファイナンシャルアドバイザーと相談の上で、最も良い方法を選ぶべき。

最後に Lasting Power of Attorney の重要性を再度お話しいただきました。それは、ケアが必要となった際に、その詳細を自分自身で決めるのは困難である可能性がある。そのために早い段階で、その費用のためのファイナンシャルプランニング、どのようなケアを受けたいのかを含めて、ご自身に代わり誰が責任を持つべきなのかということを考え決めておくことは重要であるとのこと。

それに加え、まずは下記について少なくとも検討をしておくことが必要でないかとお話しいただきました。

- I. ケアが必要となった際に十分な資本があるのか。
- II. ケア費用は保有資産を早いペースで使いきってしまう可能性があることについて。
- III. 現在保有されている投資資産をケア費用支払いでどのように効率よく利用するか。
- IV. 最も節税効果のある方法を考慮されているか。
- V. 資産を家族に残す、または自分が使い切るのか等についても考慮されているか。
- VI. もし自宅を売却せざるを得ない場合について。

同日のまとめは下記の通り。

- A. ケア費用は基本ご自身が払うことになる。
- B. 地方自治体からの給付金は多額ではない。
- C. ケア費用の捻出方法は個人個人で異なる。
- D. このようなファイナンシャルプランニングは今後より専門家を必要とすることになるのではないか。

Q&A

質問

リタイアメントアパートメントを投資目的で購入する場合のメリットとデメリットについて

回答

リタイアメントアパートメントはケアホームとは少し異なる。リタイアメントアパートは基本独立した生活をする場所であるが、追加高齢者向けサービスがある。そのために、サービスチャージが高く、購入者の年齢制限もある。そこで、**Buy to let**などの投資目的としては考えるべきではないのではないか。それは、テナントがいなくても高いサービスチャージが発生することから。そのため、投資目的であれば普通の不動産を購入してはどうか。

質問

Registered Nursing Care Contribution の位置づけについて

回答

NHS Clinical Commission Group (CCG) によって支払われる給付金。**NHS Continuing Care** から外れても **Registered Nurse** の看護が必要な場合、**CCG** からケアホームへ直接支払われる。例えば看護ケアのない **Residential Care** に滞在していても、看護が必要な場合は申請すれば、**CCG** から補助が出て、**Registered Nurse** の看護を受けることができる。

質問

資本が **23,250** ポンドを超えた場合も、地方自治体からの援助は無いものの、病気などによるケア費用は **NHS** が支払うと考えて良いのか。

回答

病気の場合は **NHS** がそのケア費用は全額支払う。

質問

自分の資本でケア費用を賄い、その資本が尽きた場合、地方自治体から援助は受けられるのか。

回答

受けられる。それは、**Capital Assessment** はご自身の健康状態が変わった際や、長期ケアが行われて資力が途絶えた際など、随時行われるために、その状況に応じて援助を受けられる可能がでてくる。

質問

看護が必要な場合は、**Nursing Care** や **Residential Care** に関わりなく受けられるのか。

回答

Nursing Care と **Residential Care** の価格差は、ほぼ看護費用の差であり、実際には **CCG** からの援助が出るために **Residential Care** でも看護は必要であれば受けられる。

質問

アルツハイマーや認知症になったために、**Nursing Care** が必要な場合、**CCG** からの補助が出るのかについて。

回答

アルツハイマーが対象かどうかということではなく、総合的な判断になるので、まずは申請をして、補助が出るかを確認されるべき。

そして、新井氏が勤める **St James Place Wealth Management** は **Care Concierge** という、ケアホーム選択や給付金申請等のケア関連を包括サポートする会社と提携したために、興味があればご一報くださいとお話しいただきました。

特記事項：先で記載されている内容と数値は現時点（2021年6月30日）での情報ですの
で、将来的変更される可能性があります。

先のまとめは英国日本人会ナルク部でまとめ、新井氏に確認いただいたものです。

なお、新井康人氏の詳細は下記ようになります。

Yasuto Arai DipPFS,
Yasuto Arai Wealth Management
Associate Partner Practice of St. James's Place Wealth Management
Mobile 07557 797310
Email yasuto.arai@sjpp.co.uk
Website <https://partnership.sjp.co.uk/partner/yasutoarai>

以上

